

# 市議会 12月定例会

## 行政報告

### 半世紀ぶりに駅前貫通

#### 都市計画道路大館駅前大館線

市議会十二月定例会が十二月六日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

昭和二十五年に都市計画決定されて以来、市民の皆さんに待ち望まれていました都市計画道路大館駅前大館線は、十月十一日に国道七号との交差部分である市立総合病院前から弁天町までの延長一・二〇メートル区間の開通式を行いました。また、平成九年度から進めています小坂鉄道大館駅前再編事業の本路線大館駅前工区延長二〇

メートルについても完成間近となり、大館駅前への主要道路としての全容を現わしてきています。

市では、この駅前貫通を記念して、今月二十三日に開通式を予定しています。これに合わせて、地元町内会や商店会などからなる実行委員会の主催での「開通イベント」も計画されています。

現在、昭和児童公園前の工事も進められており、平成十三年中には大館駅と東大館駅が一本に結ばれる見通しです。このことにより、市街地を通る国道七号と並んで大館の新しい都市軸が形成されることとなります。交通の流れが飛躍的にアップするばかりでなく、周辺地域の整備も大いに期待されます。

#### 人口減少に一定の歯止め

##### 国勢調査結果

今回で十七回目となる国勢調査の実施にあたり、六月に平成十二

年国勢調査実施本部を設置し、四百二十五調査区に調査員三百六十一人、指導員三十七人を委嘱して万全の態勢で取り組んできました。幸い大きなトラブルもなく調査が終了しました。市民の皆さんのご協力に厚くお礼を申し上げます。

現時点で市が独自に集計した結果は、総人口が六万六千二百九十八人、うち男性が三万八千八百八十二人、女性が三万五千四百十六人でした。前回の平成七年と比較して九百十六人、約一・四パーセントの減少となっています。また、世帯数は二万二千八百三十世帯で、前回と比較して七百十三世帯、約三・二パーセントの増加となっています。

この要因としては、秋田桂城短期大学の開学や北部シルバエリアのオープンなど、これまで進めてきました五大プロジェクト、三大対策の効果が除々に出発はじめ、人口減少に一定の歯止めがかかったものと分析しています。

#### 広域ごみ処理施設

##### 引き続きPFI方式で

大館周辺広域市町村圏組合のPFI法によるごみ処理施設の整備は、去る十月二日に民間事業者からの技術審査申請書などの提出を



受け、事業評価委員会による審査を行いました。このことにより、十月二十四日に入札を行いました。が、残念ながら「不落」という結果になっています。

この結果をふまえ、広域組合では今後の進め方について国、県と協議するとともに、企業の意向調査のためのヒアリングを実施し、引き続きPFI法による整備を進めていきます。

#### 介護保険制度の

##### 取り組み状況

介護サービスの受給状況については、十月三十一日現在の在宅サービスを受けているかたは八百四十人です。また、施設サービス受給者は五百八十三人で、その内訳は介護老人福祉施設が二百五十七人、介護老人保健施設が二百七人と介護療養型医療施設が百十九人と

